

2015年12月期 第1四半期 決算説明資料

カルナバイオサイエンス株式会社



証券コード : 4572

- 小野薬品工業株式会社との新たな大規模委受託契約及び共同研究契約締結に関するお知らせ（2月）
- 当社ホームページのリニューアル（2月）
- BTK阻害薬に係る米国特許商標庁からの特許査定通知受領のお知らせ（3月）
- 連結子会社の増資に関するお知らせ（3月）
- 韓国JCBio.Co., Ltdとの代理店契約締結に関するお知らせ（3月）

第1四半期 連結経営成績の概況



- ✓売上高は、対前年同期比 98.8%増（対前期比166百万円増）
- ✓営業損益は、売上増、販管費圧縮等により 98百万円の黒字（対前期比208百万円の改善）
- ✓当期純損益は、営業損益の改善により 94百万円の黒字（対前期比205百万円の改善）

（単位：百万円）

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
2015年12月期第1四半期実績 (a)	334	98	97	94
2014年12月期第1四半期実績 (b)	168	△109	△111	△111
対前年同期比 (c)=(a)-(b)	+ 166	+ 208	+ 209	+ 205
対前年同期増減率 (d)=(c)/(b)	+ 98.8%	—	—	—

(注1) 百万円未満は切り捨てして表示しております。

(注2) 対前年同期増減率における、「営業損益」「経常損益」「当期純損益」の値は前年同期においてそれぞれ損失を計上しているため数値を表示しておりません。

(注3) 2015年12月期の創薬事業及び全社の計画値は公表しておりません。詳細は平成26年12月期決算短信をご参照ください。

第1四半期 事業別業績の概況



(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	創薬支援事業	創薬事業	計	創薬支援事業	創薬事業	計
2015年12月期 第1四半期実績 (a)	334	—	334	210	△111	98
2014年12月期 第1四半期実績 (b)	168	—	168	33	△142	△109
対前年同期比 (c)=(a)-(b)	+166	—	+166	+176	+31	+208
対前年同期増減率 (d)=(c)/(b)	+98.8%	—	+98.8%	+531.1%	—	—
2015年12月期 通期計画 (d)	917			406		
通期計画に対する 進捗率 (a)/(d)	36.4%			51.7%		

(注1) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(注2) 創薬支援事業の2015年12月期通期計画値は、2015年2月13日発表の通期計画に基づいております。なお、創薬事業及び全社の計画値は公表しておりません。詳細は平成26年12月期決算短信をご参照ください。

バランスシート状況 (連結)



(単位：百万円)

	2015年12月期 第1四半期末	2014年12月末	増減額	増減理由
流動資産	924	907	+17	
現金及び預金	498	626	△128	
その他	426	280	+145	売掛金の増加等
固定資産	325	313	+11	クリスタルゲノミクス社株式評価増等
資産合計	1,250	1,221	+28	
流動負債	122	195	△72	未払金減△85等
固定負債	186	195	△9	長期借入金減△9等
負債合計	309	391	△82	
純資産合計	941	830	+110	利益剰余金+94、株式評価差額金+15等
負債・純資産合計	1,250	1,221	+28	

自己資本比率	74.7%	67.2%
一株当たり純資産	112.24円	98.69円
PBR(株価純資産倍率)	7.11倍	7.64倍
(参考) 当社株価	798円	754円

(注) 当社株価はJASDAQグロースにおける終値に基づいております。

(創薬支援事業)

- ▶ 小野薬品工業株式会社との契約に基づく大規模受託試験を完遂する。
- ▶ 連結子会社の株式会社ProbeXのスプリットルシフェラーゼ技術の応用に基づく創薬支援ビジネスの拡大を図る。
- ▶ 特定の顧客へのキナーゼに関する創薬基盤技術に基づくトータルソリューションの提供。
- ▶ 北米地域における売上拡大。
- ▶ 国内外の代理店網の整備拡充。

(創薬事業)

- CDC7キナーゼ阻害薬およびBTK阻害薬の前臨床試験を精力的に進める。
- CDC7キナーゼ阻害薬、TNIK阻害薬及びBTK阻害薬の創薬パイプラインにおけるバックアップ化合物の探索、最適化を継続する。
- その他の最適化段階にあるテーマに関しても、リード化合物の最適化研究を着実に進め、創薬パイプラインの強化を図る。
- 当社創薬パイプラインを早期に大手製薬企業等へ導出することを基本方針として、最大価値を生み出すべく、戦略的に導出交渉に取り組む。

今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



カルナ《CARNA》は、ローマ神話に登場する人間の健康を守る女神で、cardiac（心臓）の語源とも言われています。バイオサイエンス《BIOSCIENCES》は、生物科学と言われ、生物学（Biology）と生命科学（Life Science）から、つくられた言葉です。「生命科学の世紀」とも言われる21世紀に向けて、カルナバイオサイエンス社とともに新しい女神“カルナ”が誕生しました

カルナバイオサイエンス株式会社

経営管理本部 経営企画部

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-5 BMA3F

Tel (078) 302-7075 Fax (078) 302-6665

<http://www.carnabio.com/>

ir-team@carnabio.com

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。